



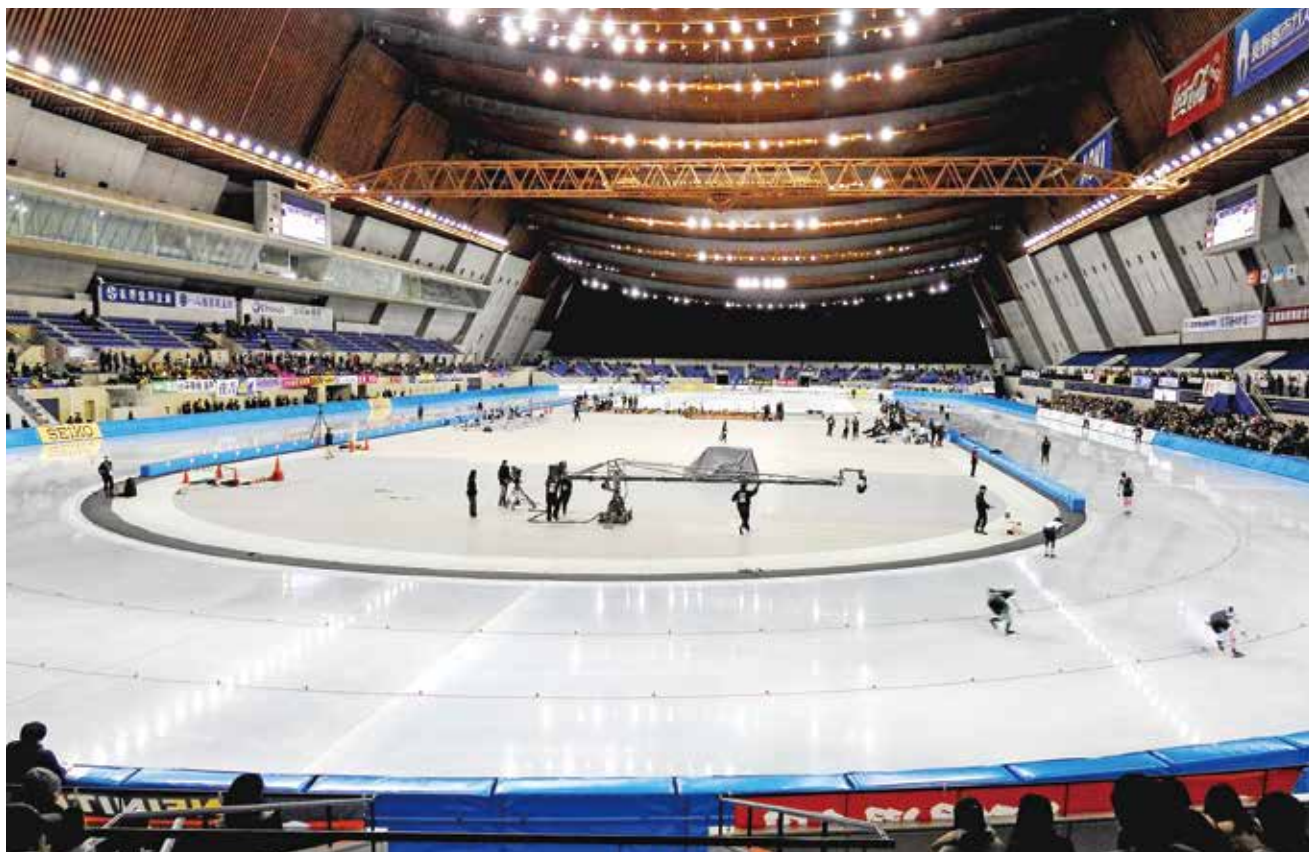
地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2018
平成30年
1-25
No.545

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

景況調査レポート



長野市 エムウェーブ

「1998長野オリンピック・パラリンピック」が開催されてから早いもので20年。日本のNAGANOは世界に通じるウィンタースポーツの聖地となりました。

信州の山並みを表現した屋根がM字を連想させることから「エムウェーブ」と名付けられたスピードスケート競技施設は長野市のランドマーク。

国際的なアイスリンクとして、また巨大アリーナ空間を利用したイベント会場として活用されています。オリンピックイヤーの今年も数多くの感動がこの場所から生まれることでしょう。

- 巻頭言 長野オリンピック・パラリンピック20年～極私的回顧 …… 2
- 長野しんきん 景況調査レポート …… 10
- 北信濃 江戸時代の風景 (42) 丹波島の渡し …… 14

アンケート特集

- 30年の経営見通し① …… 5
- 30年の暮らし向き 生活者 …… 8

あなたに元気、まちに活気。



長野信用金庫

長野オリンピック・パラリンピック20年 ～極私的回顧

新しい年の幕開けにあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

本年が皆様にとりましてよい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

あれから20年

さて、本年西暦2018年は、長野冬季オリンピック・パラリンピック開催から20年という記念の年にあたります。長野オリンピックは1998年2月7日から22日までの16日間で7競技68種目が実施されました。72の国・地域から4638人の選手・役員が参加しました。この数字はともにそれまでの冬季オリンピックでは最大のものでした。

長野市内のこどもたち「雪ん子」のダンスや横綱曙の土俵入りの開会式に始まり、清水宏保選手のスピードスケート500mでの日本選手初の大会金メダルで勢いがつき、雪で順延されながらようやく実施されたアルペン男子滑降、吹雪で中断されながら大逆転で金メダルに輝いたスキージャンプ団体、そして閉会式長野の夜空を彩った5000発の花火等々、人により思い出すシーンはさまざまだと思います。また直接運営に携わったボランティアだけでも3万2000人余という多くの皆さんの協力もありました。

私と長野五輪～アメリカにて～

私は1993年から1998年3月大会終了後までの5年余、長野オリンピック冬季競技大会組織委員会（NAOC）の職員として大会の準備・運営に携わっておりました。もっとも、長野オリ

ンピックには招致の段階からいささかの関わりがあり、1990年3月、当時の長野県ロスアンジェルス駐在員としての赴任が始まります。

翌年1991年には国際オリンピック委員会（IOC）総会での開催都市決定が予定されており、招致活動も最終段階に入っておりました。長野の最強のライバルはアメリカユタ州のソルトレイクシティでした。着任して3か月後にそのソルトレイクシティでボブスレーとリュージュの国際連盟の総会が開催され、初めて同市を訪れて以来、何度か訪問してソルトレイクシティ招致委員会と接触するとともに、ユタ州の地方紙2紙をロスで定期購読して情報収集に努めました。

また同地には戦前から邦字新聞『ユタ日報』が発行されていました。飯田市出身でご主人が立ち上げた同紙をご主人亡きあとも発行を続けていた寺澤國子さんと長女の和子さんには大変お世話になりました。和子さんに招致委員会の記者会見に出席していただいてその様子をお聞きしていたことは特にここで記しておきたいと思います。國子さんは翌年8月に95歳でお亡くなりになり、ユタ日報も廃刊となりましたが、お二人と知り合えたことは私の人生にとっての大きな喜びです。アポもなしに初めて自宅兼社屋を訪問した時の心のこもった歓待は忘れることができません。

あれやこれやあり、運命の1991年6月15日を迎えました。ロスは土曜日の午前中で、テレビではCNNが発表の1時間くらい前から開催地決定の予告を流していました。ソルトレイクシティが有力視されているだけにアメリカでの関心も高いようでした。いよいよイギリス・バー

長野県副知事 太田 寛



〔プロフィール〕 おおた ゆたか

昭和50(1975)年 長野県松本深志高校 卒業
昭和54(1979)年 京都大学法学部 卒業
昭和54(1979)年 長野県入庁
平成2(1990)年 県口サンゼルス駐在員
平成7(1995)年 長野オリンピック冬季競技大会組織
委員会(NAOC)出向
平成9(1997)年 同委員会広報第一課長
平成16(2004)年 生活環境部長
平成17(2005)年 企画局長
平成18(2006)年 木曽地方事務所長
平成21(2009)年 参事兼建設政策課長
平成23(2011)年 商工労働部長
平成26(2014)年 総務部長
平成27(2015)年 副知事

ミンガムからの中継に画面が切り替わり、家内と当時4歳の息子と3人で緊張して見つめる中で、あのサマランチIOC会長の「シティ オヴ ナガノ」の発表がありました。あの瞬間の喜びは忘れられません。

帰国から大会まで

1993年春に駐在員の任期を短縮して帰国し、そのままNAOCに出向。渉外課、企画財政課、競技調整課、と異動して大会の前年からは広報第一課長を務めました。

この間の思い出を綴ればきりがありません。

まず帰国した年の6月には国際オリンピックアカデミー(IOA)青年交流会議に出席のためギリシャに出張し、約3週間世界各国から集まった青年男女百数十名と合宿してオリンピックと平和、相互理解などのテーマで討議を行いました。会場は古代オリンピックが開催されたオリンピアでした。オリンピアには古代オリンピック競技場の遺跡があり、オリンピックの聖火を採火する女神ヘラの神殿跡も遺跡の中にあります。この会議を通じてオリンピック精神について理解を深めることができたのは、その後の長野の準備に際してのモチベーションを高めることに大きな意味がありました。

翌1994年2月にはノルウェー・リレハンメルで長野の直前大会となる冬季オリンピックが開催されました。私も視察に行きましたが、大会期間中のリレハンメル組織委員会職員の緊張感がひしひしと感じられ、こちらも身の引き締まる思いをしました。一転して閉会式のあとのリレハンメル組織委員会職員のはしゃぎようを見

るにつけ、長野オリンピックの閉会式の後には自分もこのようになりたいとうらやましく思いました。

リレハンメル大会が終わるといよいよ準備が本格化しました。

1992年10月第18回オリンピック冬季競技大会基本理念を発表しました。

『長野オリンピックは21世紀への架け橋となるスポーツの祭典である 私たちは新しい時代の英知を求め美しく豊かな自然との共存とさらなる平和と友好をめざす そして 競いあう情熱と温かい思いやりを胸にオリンピックに集う喜びを世界の友とわかちあいたい』

この基本理念は、当時企画財政課長であった牛越徹大町市長と私が原案を練ったものです。手前味噌になり恐縮ですが、今読みかえしても、よい理念であったと思います。

1992年から95年春までは大会運営基本計画の策定に没頭しました。職員のほとんどはオリンピックの経験もなく、競技にも精通しているわけではありません。I O Cをはじめ、国際・国内競技連盟、国等々と膨大な調整をしなければならず、さまざまな出身母体から派遣されている職員が文字通り昼夜を分かたず仕事をしていました。

大会運営基本計画では「長野オリンピックがめざすもの」として、

- (1)子供たちの参加促進 (2)美しく豊かな自然との共存 (3)平和と友好の祭典の実現を掲げました。

このころになると多くの市民、県民の皆さんやさまざまな団体・企業の方々が協力をしていただいて、というか、さまざまな企画を立案していただいて長野オリンピックの成功に向けて動く大きな波が起こってきました。

すべてを掲げることは不可能ですが、たとえば長野以降の開催都市にも継承され、東京オリンピックのホストタウン構想にも受け継がれている「一校一国運動」は長野オリンピックが誇るレガシーです。また青年会議所の皆さんの主唱とサポートにより、長野の子供たちが作成した参加国・地域のレリーフがエムウェーブの入り口前に並んでいます。これは池田満寿夫氏の監修によるものです。

1997年12月、ギリシャ・オリンピアでの採火式が行われました。あの女神ヘラの神殿前です。採火後のギリシャ国内での聖火巡回では、ある小さな町で大雪の中、町民ほぼ全員による歓迎集会が開かれました。聞けばナチスの侵攻時に町民の多くが殺された町で、人々の平和を

希求する思いが大歓迎会になったとのこと。涙が出るほど感動的な場面でした。

ちなみに聖火はそのままでは飛行機に持ち込めないため、白金懷炉に種火を移しました。二つに分けた種火をスーツの胸ポケットに入れて日本に持ち帰ったのは、長野市から出向のT君と私の二人です。

長野の想いを世界へ

迎えた長野オリンピック本番の際は想定外のさまざまなこともありましたが、結果は大成功でした。今でもいろいろな方とお会いしたときに、長野オリンピックの時、自分はあの会場でこのようなボランティアをしていた、とかあの競技会場であの場面を観ていた、とかで話が盛り上がるのも、大会が成功したからこそのことと思います。

そして20年経ち、今年はお隣韓国で平昌オリンピック・パラリンピックが開催されます。昨秋、冬季五輪開催地経済協力フォーラムにパネラーとして招かれて平昌に行く機会があり、競技会場も視察してきました。すばらしい施設です。平昌オリンピックが平和と友好の祭典として成功裡に開催されることを心から期待しています。

2020年には東京オリンピックが開催されます。そして2022年は北京冬季オリンピックです。東アジアで冬夏冬と3回続けて開催されるオリンピックということはかつてない機会です。

長野オリンピックが掲げた大会運営理念が、たとえ形は変わってもその精神が継承されていくことを願ってやみません。

29年の業況 +6 [良い]31% [悪い]24%

30年の業況見通し +6 [良くなる]23% [悪くなる]17%

アンケート
30年の経営見通し ①
29年12月調査

29年の業況 [良い]31%、[悪い]24%の+6となり、28年(▲13)に比べ19ポイント改善しています。

30年の業況見通し [良くなる]23%、[悪くなる]17%の+6となり、29年(▲11)に比べ17ポイント改善の予想となりました。

29年の業況

30人未満 +7 [良い]29% [悪い]22%

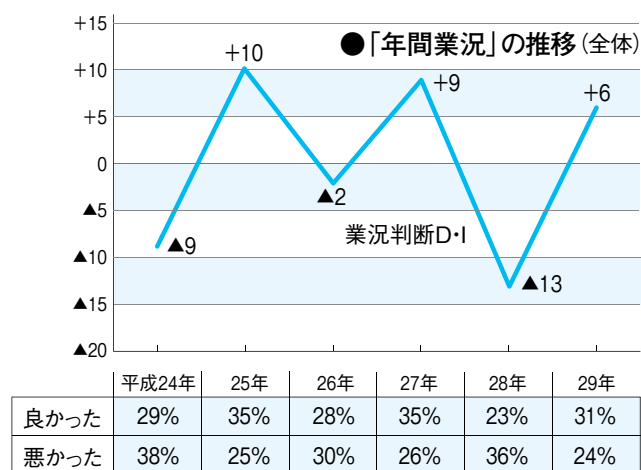
30人以上 +3 [良い]34% [悪い]31%

「平成29年の業況(見込み)は、28年に比べてどうか」を聞きました。

全産業では、「良い」と「やや良い」を合わせた[良い]と答えた企業(30.6%)から、「悪い」と「やや悪い」を合わせた[悪い]と答えた企業(24.4%)を引

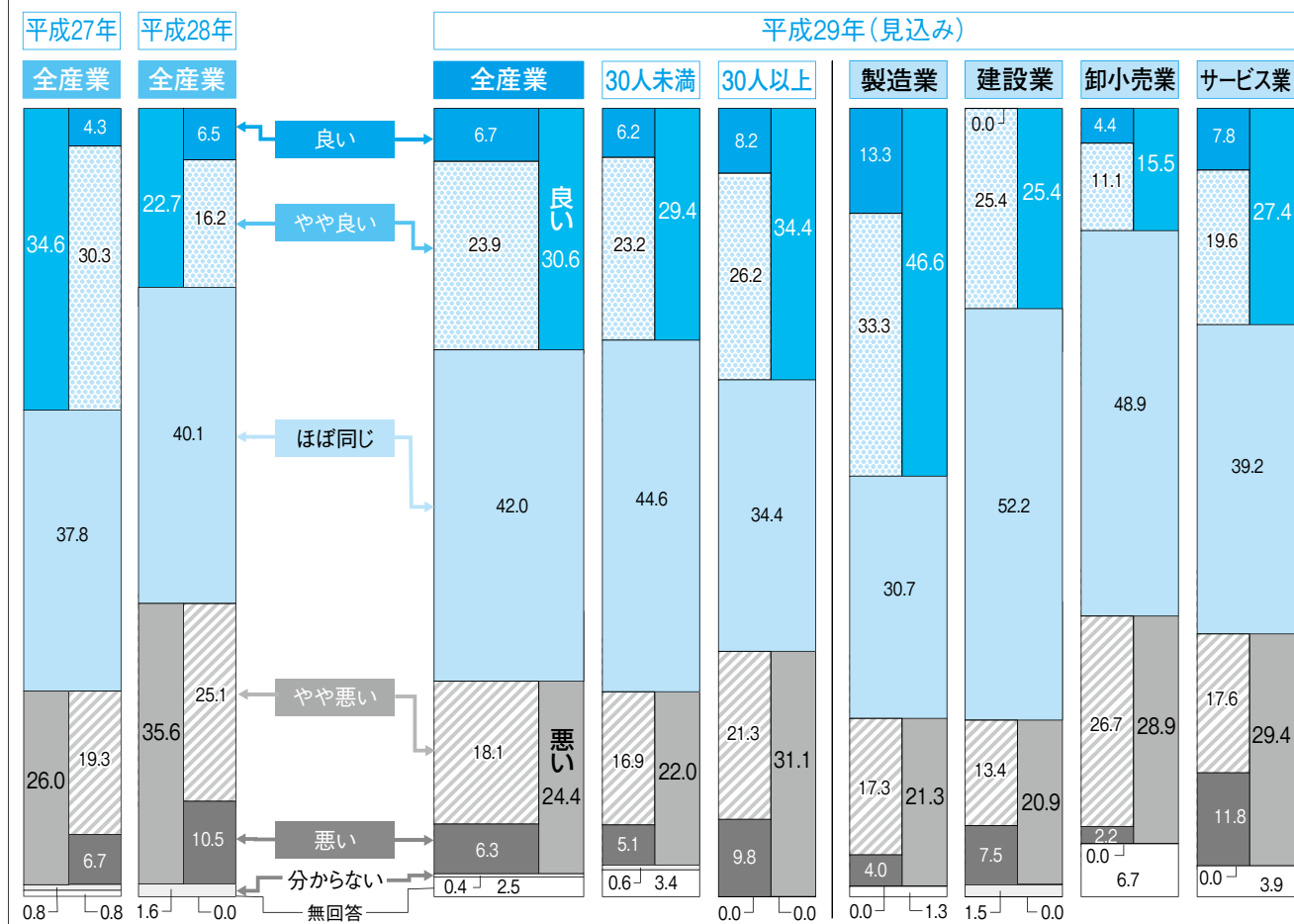
いた業況判断D・Iは+6となり、28年(▲13)に比べて19ポイント改善しました。

従業員規模で見ると、30人未満の+7に対して30人以上は+3となり、30人未満が4ポイント上回りました。



●平成29年の業況(見込み)は、28年に比べてどうか(%)

～全産業は28年(▲13)より19ポイント改善して+6に～



業種別

建設は30人以上が高い

◇ 4 業種 (28年比)

製造業 業況判断D・Iは、28年実績(±0)に比べ25割改善の+25となり、他業種に比べ最も高くなっています。30人未満は+33、30人以上は+8です。

建設業 業況判断D・Iは、28年実績(▲5)に比べ10割改善の+5となり、製造業に次いで高くなりました。30人未満は±0、30人以上は+27です。

卸小売業 業況判断D・Iは、28年実績(▲28)に比べ15割改善の▲13となりましたが、他業種に比べ最も低くなりました。30人未満は▲13、30人以上は▲14です。

サービス業 業況判断D・Iは、28年実績(▲29)に比べ27割改善の▲2となりましたが、卸小売業に次いで低くなりました。30人未満は▲3、30人以上は▲11です。

30年の業況見通し

30人未満 +5 [良くなる]21% [悪くなる]16%
30人以上 +8 [良くなる]28% [悪くなる]20%

「平成30年の業況見通しは、29年に比べてどうか」を聞きました。

全産業では、「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]と答えた企業(23%)から、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]と答えた企業(17%)を引いた業況判断D・Iは+6となり、29年実績(+6)に比べ横ばいとなりました。

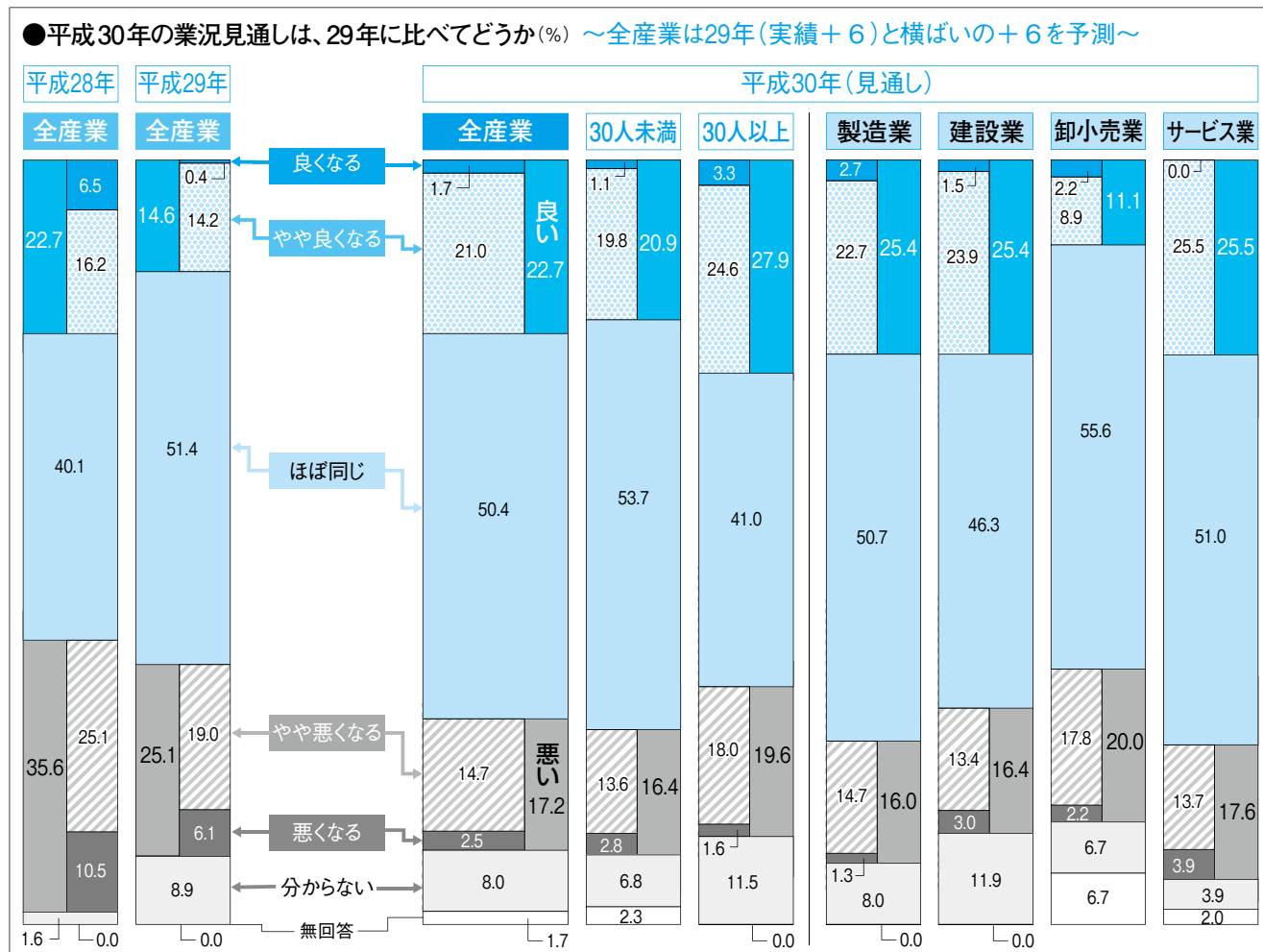
従業員規模で見ると、30人未満の+5に対して30人以上は+8となり、30人以上が3割上回っています。

業種別

卸小売のみマイナス予測だが、従業員規模で明暗分かれる

◇ 4 業種 (29年比)

製造業 業況判断D・Iは、29年実績(+25)に比



べ16%悪化の+9となり、建設業とともに最も高くなりました。30人未満は+10、30人以上は+8です。

建設業 業況判断D・Iは、29年実績(+5)に比べ4%改善の+9となり、製造業とともに最も高くなっています。30人未満は+7、30人以上は+18です。

卸小売業 業況判断D・Iは、29年実績(▲13)に比べ4%改善の▲9となり、他業種に比べ最も低く、唯一マイナスになりました。30人未満は▲13、30人以上は+14です。

サービス業 業況判断D・Iは、29年実績(▲2)に比べ10%改善の+8となりました。30人未満は+13、30人以上は±0です。

◇次号は「北信地区の景気動向」と「自社の業況が上向く転換点」を予定

[調査要領]

実施期日：2017(平成29)年12月上旬～中旬

実施方法：第170回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収238社(製造業75社、建設業67社、

卸小売業45社、サービス業51社)

うち従業員30人未満177社(74.4%)

「30年の展望と業界見通し」に関する企業からのコメント

◇：自社の展望 ◆：業界の見通し

製造業

- ◇新工場稼働により、世界に挑戦する機会を得た。
飛躍を遂げるべく一歩ずつ歩む。(乾麺・生冷凍麺)
- ◇エンドユーザー向けに、商品や企業のPRをインターネットで発信したい。(びん・袋詰食品、漬物)
- ◇既存製品の受注量は減っていくだろう。新分野の製品・サービスを模索したい。(シール・ラベル)
- ◇現状のテリトリーでは売上増は見込めない。関東を中心に人材を投入し、売上拡大に努めていきたい。(段ボール印版)
- ◆材料高と人手不足が続くと、経営上の重大問題となる。(金属製品)
- ◆大きな変化はないが、バブルになりかけているので、いつかは下降すると思う。(一般機械)
- ◇18年は液晶関連装置の受注が増えそうだが、コスト削減要求が強く、利益をどのように捻出するかが課題。(電気機械)
- ◇新商材の確立で脱皮したいが、トランプ政権と北朝鮮情勢で先行き不透明。(医療機器製造)
- ◇業種にバラツキはあるが、総じて横ばいか上向き傾向。(パソコン組立)
- ◇引き合い増の醗酵機など環境関連製品に力を入れていきたい。(キノコ関連機械製造)

建設業

- ◇OB顧客の高齢化、DIYの増加、人口減少(空き家増加)など厳しさが予測される。(総合建設)
- ◆建設業界は職人が不足している。工事物件(需要)はあるのに、仕事が遂行できない。(屋根・板金)
- ◆2020年に向けて関東方面は活発化している様子。近隣の鉄骨場、材料屋は忙しそう。それまでにいかに資金を蓄えておくかがカギ。(各種設備)
- ◇春先以降は北陸(石川)、首都圏の工事量増が見込

まれる。オリンピック・パラリンピック関連工事も出始める予想。(内装仕上)

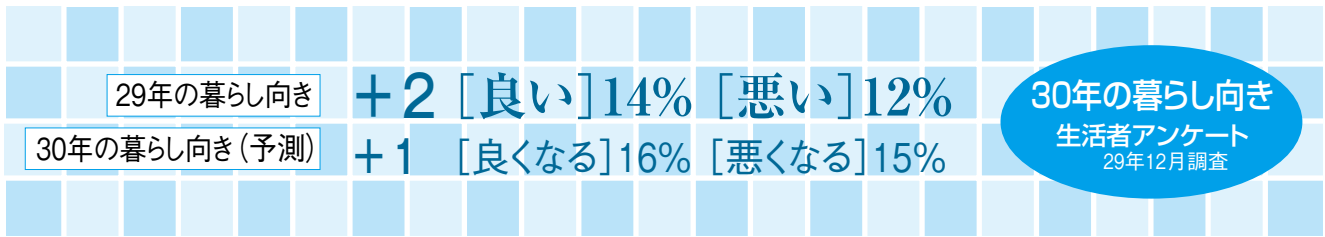
- ◇長野市内の大型マンション建設、価格に注意し受注したい。東信の物件が増加しそう。(給排水・空調)
- ◇新規ポリウレタ事業に注力し、収益の柱となるよう努力したい。(総合建設)

卸小売業

- ◆農家の高齢化による作物生産量の減少、温暖化や気候変動による品質の低下が懸念される。(果物卸売)
- ◇消費が冷え切っているので、無理をしないで利益を出すことを考えている。(花鉢・盆栽卸売)
- ◇高齢化や少子化による運転人口の減少対策として、商品力・高付加価値サービスで他銘柄との差別化を図る。(自動車販売・整備)
- ◆労働力不足を解消しないと、サービス業は極めて経営が厳しくなると思う。(酒類卸売・小売)
- ◆医療費が国の財政を圧迫しているうえに、団塊の世代が高齢になり、医療・製薬業界はどのように変わり、薬局はどうなるのだろうか。(医薬品小売)

サービス業

- ◆市場規模縮小よりも人手不足の速度が勝っていて、人的資源を確保できる会社が生き残れる。(輸送)
- ◇給与面で優遇をして、人材確保に力を入れている。(タクシー・バス)
- ◇収益が増えている時こそ、人材の育成を経営の重要課題として取り組みたい。(日本料理・仕出し)
- ◇現状に満足せず、顧客本位のサービスに徹し、従業員も満足できる職場づくりに励みたい。
- ◆団体客の減少が志賀高原全体に与える影響はとても大きいと思う。(以上旅館)
- ◇他県・他市からの進出が目立っている中で、地元根差した業務を心がけていきたい。(不動産)



29年の暮らし向き [良くなった]14%、[悪くなった]12%で、暮らし向き判断D・Iは+2となり、改善しています。

30年の暮らし向き [良くなる]16%、[悪くなる]15%で、暮らし向き判断D・Iは+1となり、改善を予測しています。

◇29年 +2([良くなった]14%・[悪くなった]12%)

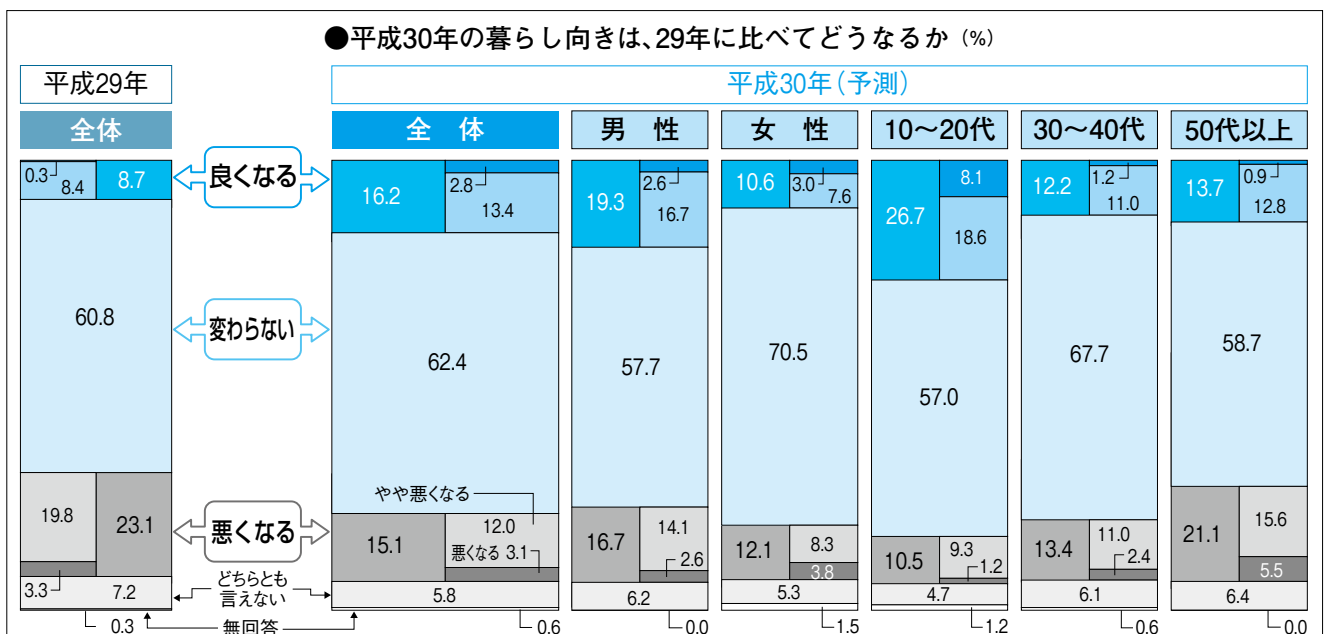
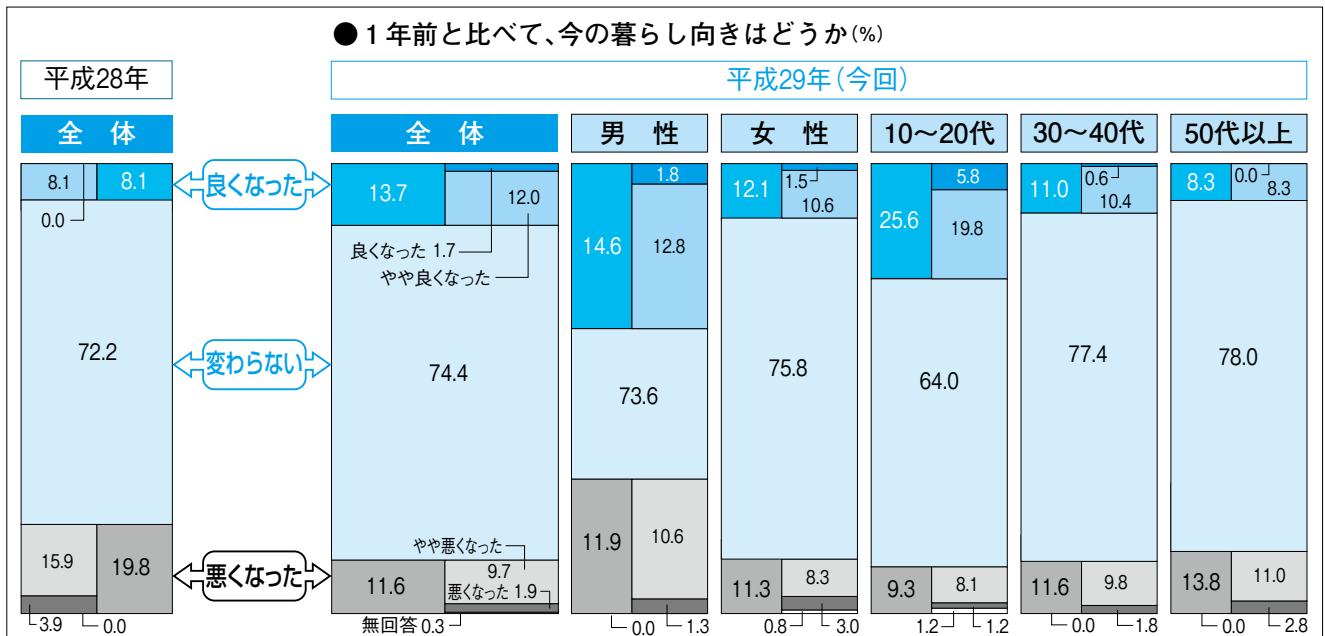
◇30年(予測)+1([良くなる]16%・[悪くなる]15%)

29年の暮らし向き

28年より14ポイント改善の+2

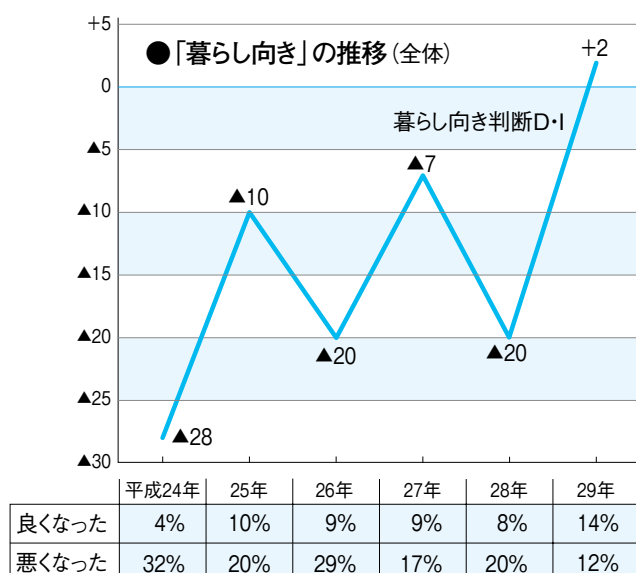
「平成29年の暮らし向きは、28年と比べてどうか」を聞きました。

「良くなった」と「やや良くなった」を合わせた[良くなった]は14%(28年調査:8%)、「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた[悪くなった]は12%



% (同20%)で、暮らし向き判断D・Iは+2となり、28年(▲12)に比べ14ポイント改善しています。

男女別では、[良くなった]は男性15%、女性12%、[悪くなった]は男性12%、女性11%となり、暮らし向き判断D・Iは、男性+3、女性▲1となり、男性が4ポイント高くなりました。世代別では、10～20代が+16、30～40代が▲1、50代以上が▲6となり、その差は22ポイント広がっています。



30年の暮らし向き(予測)

29年(実績)とほぼ同傾向

「平成30年の暮らし向きは、29年と比べてどうなるか」を聞きました。

「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]は16% (29年実績14%)、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]は15% (同12%)で、暮らし向き判断D・Iは+1となり、29年実績(+2)とほとんど差はありません。

男女別では、[良くなる]は男性19%、女性11%、[悪くなる]は男性17%、女性12%となり、暮らし向き判断D・Iは、男性+3、女性▲2となりました。世代別では、10～20代が+16、30～40代が▲1、50代以上が▲7となっています。どちらも29年実績とほとんど差はありません。

[調査要領]

実施期日：2017(平成29)年12月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客359人(男性227人・女性132人)

調査方法：アンケート用紙に記述(無記名)

「暮らし向き」に関する生活者からのコメント

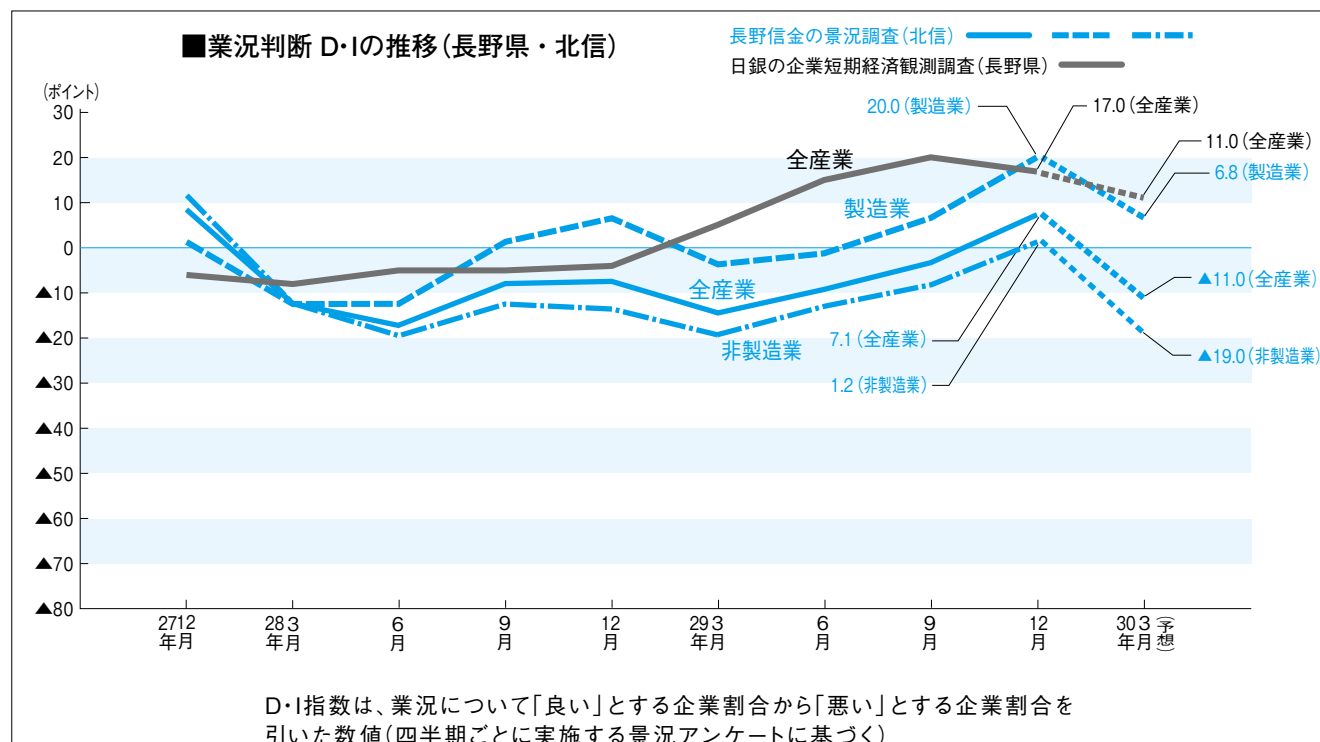
- ◇格差が広がっている。
- ◇お金がとにかく出ていく。
- ◇自分は貯蓄することが精一杯なので、家をローンで購入する友人の話などを聞くと、本当に尊敬する。
- ◇年金以外に、将来に向けた貯蓄の必要性を痛感する。(以上30代男性)
- ◇定年が延びて収入はありがたいけれど、ゆっくりする間もなく死ぬかと思うと、定年は60歳くらいがよい。老後が不安である。子供の制度より老人の制度も見直してほしい。(40代女性)
- ◇最終的には自己責任であり、日々ついて回る悩みの種も、自らが解決していくしか策はない。
- ◇将来の見通しが不透明なので、積極的な消費・投資行動を起こしづらい。世の中の雰囲気が明るくなってほしい。(以上40代男性)
- ◇やはり、老後は年金で暮らしていけるか不安です。
- ◇消費税が上がった分だけ家計を圧迫しているような気がする。
- ◇自分にはやりたいことがあるが、仕事や家庭のことに追われて、一日が終わってしまうことが虚しい。
- ◇人手不足なのに、働ける意欲がある中年が退職するのはもったいない気がする。(以上50代女性)
- ◇収支に大きな変動はないが、今後の景気動向による経済環境の変化と健康面について気になる年齢にな

ってきた。

- ◇教育費の無償化は、親としての自覚を減少させる。タダよりも学ぶ意欲と環境を整えるようにすべき。
- ◇真面目で無口な人間が損をし、老後に不安がある世の中はおかしい。
- ◇アリは寒い冬のために、夏の間にせっせと食べ物を蓄えた。今の世の中、ギリギリスミミミな生活をしていながら、行政に支援を求める輩が多い。
- ◇65歳以上でも働く意欲のある人は働き、年金を上乘せで加入し、受給権のある年金は受給できるシステムを構築してほしい。(以上50代男性)
- ◇終活への思いを、子供たちにどのように伝えるのがベストか考慮中。
- ◇教育費を無償化し、年金の受給は70歳過ぎてからなどと制度が変化してきたが、若いころに苦労して、年寄りになったらノンビリ暮らすというような生活設計はどこへ行ったのだろうか。
- ◇私はいつもパソコンで仕事をしているが、今の時代は何でもパソコンを使った書類が多く、還暦を過ぎるとその対応が大変である。(以上60代以上女性)
- ◇不安定な建設業に従事しているためか、仕事オンリーの生活となり、暮らし向きについて考える余裕が持てない悩みがある。(60代以上男性)

景況調査レポート 概況 (第170回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆平成29年10～12月期…景気の現状 ◇30年1～3月期…景気の見通し



全産業▲3 → +7 製造業・非製造業ともに改善

平成29年10～12月期の業況判断D・Iは、全産業で10ポイント改善して+7となりました。製造業は13ポイント改善の+20、非製造業は9ポイント改善の+1です。

平成30年1～3月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、18ポイント悪化の▲11となりました。

◆北信地区の10月～12月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲3	→ +7 (10ポイント改善)	→ ▲11
製造業	+7	→ +20 (13ポイント改善)	→ +7
非製造業	▲8	→ +1 (9ポイント改善)	→ ▲19

非製造業 ▲8 → +1 サービス業は悪化

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が+6(前期比+17ポイント)、卸小売業が+5(同+19ポイント)、

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲8	→ +1 (9ポイント改善)	→ ▲19
建設業	▲11	→ +6 (17ポイント改善)	→ ▲24
卸小売業	▲14	→ +5 (19ポイント改善)	→ ▲18
サービス業	±0	→ ▲8 (8ポイント悪化)	→ ▲14

サービス業が▲8(同▲8ポイント)となり、建設業・卸小売業が改善しています。

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)		収益判断D・I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	+4	→ +15 (改善)	▲1	→ +4 (改善)
製造業	+11	→ +21 (改善)	▲3	→ +4 (改善)
非製造業	+1	→ +12 (改善)	▲1	→ +4 (改善)

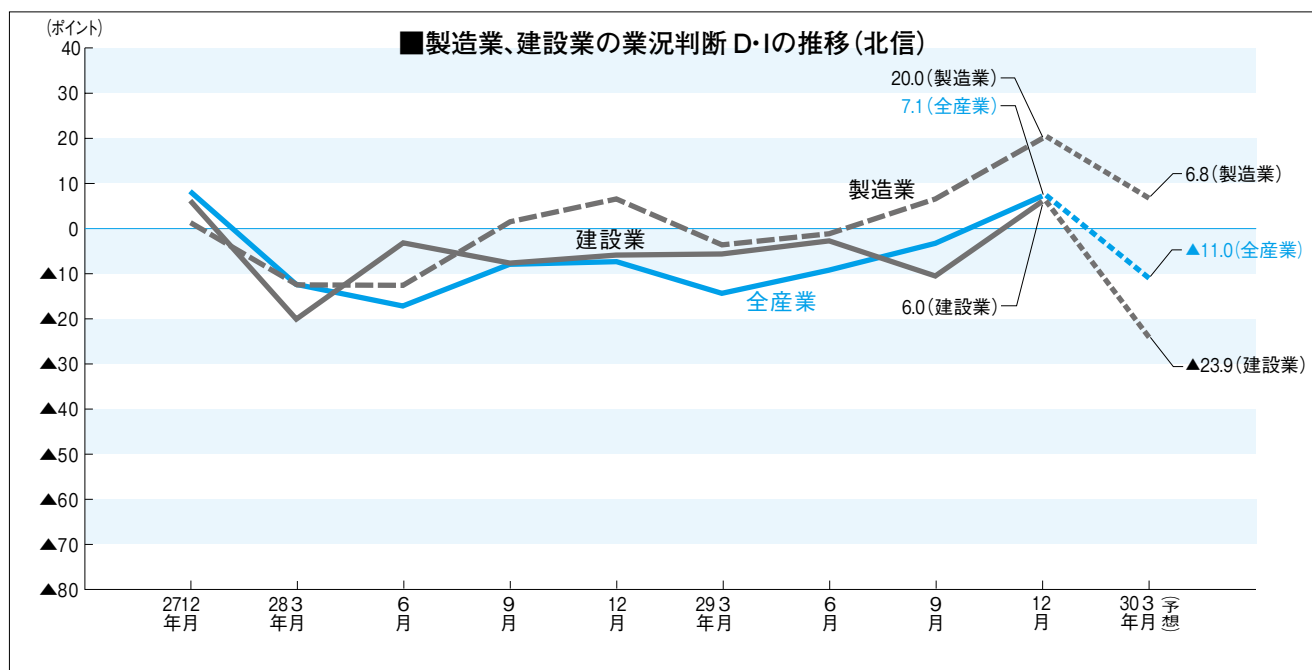
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	29年3月	6月	9月	12月	30年3月(予想)
全産業	▲14.4	▲9.3	▲3.3	+7.1	▲11.0
製造業	▲3.8	▲1.3	+6.5	+20.0	+6.8
非製造業	▲19.3	▲13.0	▲8.1	+1.2	▲19.0

[調査要領]

●調査実施……平成29年12月
●調査対象企業(回収)
製造業……75社
建設業……67社
卸小売業……45社
サービス業……51社

合計……238社
●回収率……85.9%
●従業員規模
30人未満……74.4%
●分析……D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

13期改善して+20に、来期は悪化の予想

製造業の10～12月期の業況判断D・Iは+20で、前期(+7)に比べ13期改善となりました。1～3月期は今期より13期悪化の+7の予想です。

	(前期)	7～9月期	+7
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	+20
	(来期)	1～3月期	+7(予想)

◇業種別業況判断

改 善	食料品・一般機械・電気機械・自動車部品 精密機械
悪 化	金属加工

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)・・・+4(7期改善)

「増益」割合	前期 19% → 24% (5期増加)
「減益」割合	前期 22% → 20% (2期減少)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期 55% → 60% (5期増加)
「収支トントン」	前期 31% → 22% (9期減少)
「赤字」	前期 15% → 19% (4期増加)

企業からのコメント

- ★原料や包装材料などの値上り要請が来ている。(味噌)
- ☆17年後半より20年ごろまで液晶設備は中国向け投資が続く。半導体関連も車の自動運転やEV化で設備投資が続くと予想される。(電気機械)
- ☆半導体装置メーカーは設備投資が旺盛。中国を始め韓国・台湾・米国が増加傾向。(半導体材料加工)
- ★原材料や段ボールなどの値上げが続いている。(プラスチック製品・金型)

建設業の景況

17期改善して+6に、来期は悪化の予想

建設業の10～12月期の業況判断D・Iは+6で、前回(▲11)に比べ17期改善しています。1～3月期は今期より30期悪化の▲24の予想です。

	(前期)	7～9月期	▲11
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	+6
	(来期)	1～3月期	▲24(予想)

◇業種別	総合建設	前期 ±0 → ▲17(17期悪化)
	土木工事	前期 ▲55 → ▲8(47期改善)
	建 築	前期 ▲10 → +8(18期改善)
	各種設備	前期 +25 → +27(2期改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)・・・▲5(2期改善)

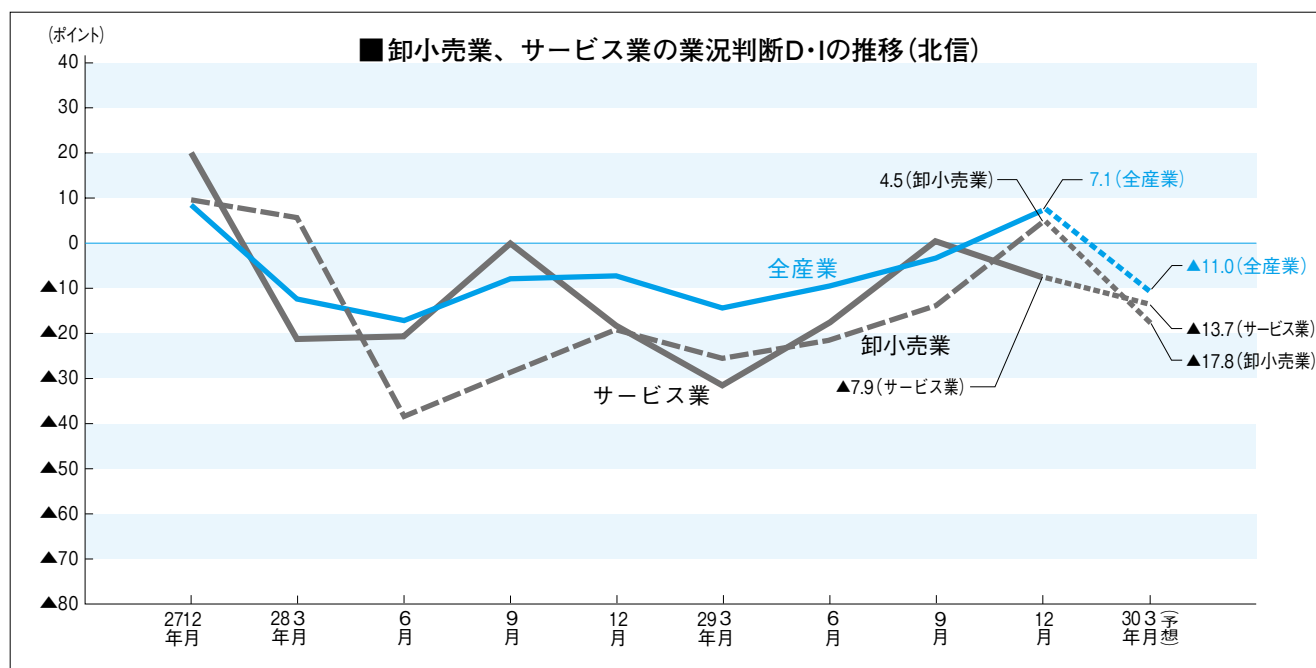
「増益」割合	前期 16% → 13% (3期減少)
「減益」割合	前期 23% → 18% (5期減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期42% → 54%(12期増加)
「収支トントン」	前期53% → 42%(11期減少)
「赤字」	前期 5% → 5%(横ばい)

企業からのコメント

- ☆★中部横断道工事は最盛期で収益は見込めるが、現入札制度では業界の見通しが立てにくい。
- ★公共工事の減少や職人などの不足により、先が見通しにくい。(以上総合建設)
- ☆☆当社は順調に受注しているが、不足業者の低価格受注により、当社にも影響がある。(給排水・空調)



卸小売業の景況

業況は19期改善の+5、来期は悪化の予想

卸小売業の10～12月期の業況判断D・Iは+5で、前回(▲14)に比べ19期改善しました。1～3月期の業況判断D・Iは23期悪化の▲18の予想です。

◆業況判断D・I	(前期) 7～9月期	▲14
	(今期) 10～12月期	+5
	(来期) 1～3月期	▲18(予想)

◇業種別	卸売業	前期 ▲14 → +10 (24期改善)
	小売業	前期 ▲14 → ±0 (14期改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+27(35期改善)

「増益」割合	前期 16% → 38% (22期増加)
「減益」割合	前期 24% → 11% (13期減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 30% → 50% (20期増加)
「収支トントン」	前期 64% → 48% (16期減少)
「赤字」	前期 6% → 2% (4期減少)

企業からのコメント

- ★☆目標額達成は難しいが、付帯工事などの増加により、利益確保は上向いている。(家電小売)
- ☆★大企業は比較的一度に仕入れるが、中小企業は必要な分だけ仕入れる傾向。(健康食品卸売)
- ★天候不順の影響で、大玉りんごの確保が難しく、贈答用商品は品不足状態にある。(青果物卸売)
- ★生鮮食品の宅配サービス業者が相次ぎ参入。スーパー業界の競争が激化しそう。(生鮮食品小売)

サービス業の景況

業況は8期悪化の▲8、来期も悪化の予想

サービス業全体の10～12月期の業況判断D・Iは▲8で、前回(±0)と比べ8期悪化しました。業種別では、輸送のうち運輸が改善しています。

1～3月期の業況判断D・I(予想)は6期悪化の▲14です。

◆業況判断D・I	(前期) 7～9月期	±0
	(今期) 10～12月期	▲8
	(来期) 1～3月期	▲14(予想)

◇業種別業況判断D・I

サ ー ビ ス	前期 ±0 → +22 (22期改善)
輸 送	前期 ▲18 → ▲18(横ばい)
タクシー	前期 ▲50 → ▲75 (25期悪化)
運 輸	前期 ±0 → +14 (14期改善)
外 食	前期 +9 → ▲10 (19期悪化)
観 光	前期 +10 → ▲33 (43期悪化)
不 動 産	前期 ±0 → ±0(横ばい)

企業からのコメント

- ★年末は貨物量が増えるが、庸車確保がままならず厳しい状況。燃料価格の上昇が収益に影響。(運送)
- ★☆飲食業は全体的に景気が良くない。だが、客単価はやや上昇してきている。(日本料理・仕出し)
- ☆外国人客が増加し、クレジットカードの決済が引き続き増えている。(旅館)
- ★マンション分譲業者に限らず、建売業者・媒介業者など他県からの進出が目立ってきている。(不動産)

雇用情勢 10～12月期

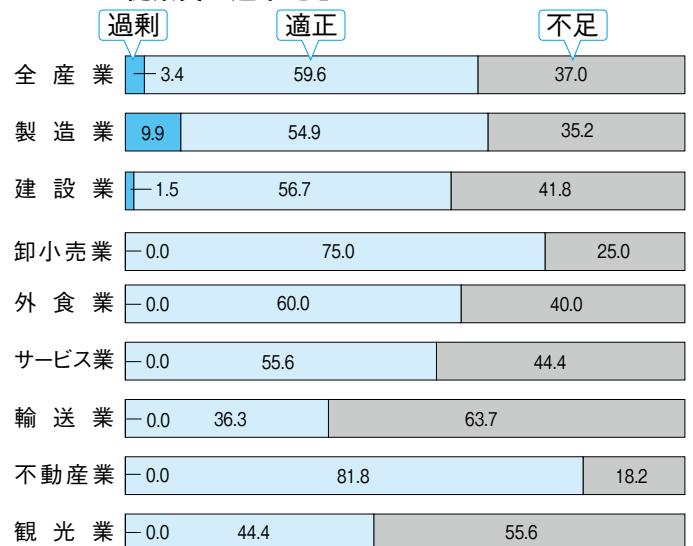
サービス・不動産・外食ほかが改善

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲34となり、前回（▲38）より4ポイント改善しています。

雇用情勢（「過剰」－「不足」）

業 種	前期（7～9月）	今期（10～12月）
全産業	▲37.7	▲33.6
製造業	▲33.3	▲25.3
建設業	▲42.9	▲40.3
卸小売業	▲19.6	▲25.0
外食業	▲54.6	▲40.0
サービス業	▲75.0	▲44.4
輸送業	▲70.0	▲63.7
不動産業	▲33.3	▲18.2
観光業	▲50.0	▲55.6

従業員の過不足感（％）



(資料:当金庫)

資金繰り 10～12月期

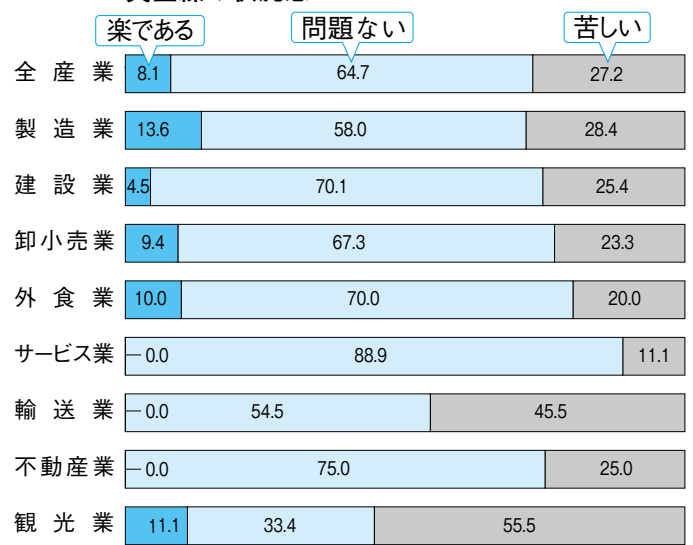
輸送・サービス・不動産・観光が悪化

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲19となり、前回（▲25）より6ポイント改善しています。

資金繰り（「楽である」－「苦しい」）

業 種	前期（7～9月）	今期（10～12月）	来期（1～3月）
全産業	▲24.8	▲19.1	▲24.0
製造業	▲24.9	▲14.8	▲14.9
建設業	▲24.6	▲20.9	▲33.4
卸小売業	▲24.5	▲13.9	▲21.0
外食業	▲36.4	▲10.0	▲30.0
サービス業	±0	▲11.1	±0
輸送業	▲27.3	▲45.5	▲45.5
不動産業	▲16.7	▲25.0	▲8.3
観光業	▲40.0	▲44.4	▲55.6

資金繰り状況感（％）



(資料:当金庫)

販売価格動向 10～12月期

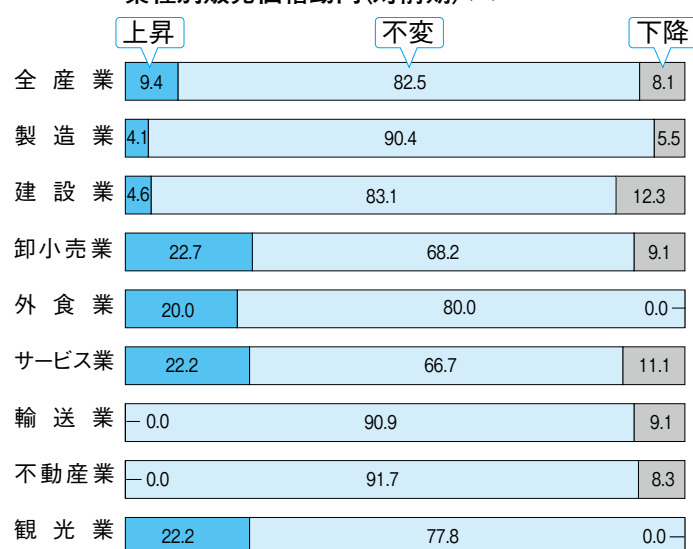
卸小売・外食・ほかが上昇、製造・輸送は下降

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で+1となり、前回（+1）と横ばいです。

販売価格動向（「上昇」－「下降」）

業 種	前期（7～9月）	今期（10～12月）	来期（1～3月）
全産業	+1.2	+1.3	▲3.0
製造業	+5.3	▲1.4	+5.5
建設業	▲10.7	▲7.7	▲12.5
卸小売業	+4.0	+13.6	▲4.5
外食業	+9.1	+20.0	±0
サービス業	+12.5	+11.1	+11.1
輸送業	±0	▲9.1	▲9.1
不動産業	▲8.3	▲8.3	±0
観光業	+20.0	+22.2	▲11.1

業種別販売価格動向(対前期)（％）



(資料:当金庫)

北信濃 江戸時代の風景

(42) 丹波島の渡し

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



絵を読む

長谷川雪旦(1778~1843)が『北国一覽写』に描いた丹波島の渡しの図です。現在の長野市の丹波島橋付近の光景です。右上に「信州一之大流川、筑波川」と書いてあります。「筑波川」は「千曲川」のことでしょうから、「信州一之大河、千曲川」ということです。丹波島の渡しは実際には犀川の渡し場ですから、長谷川雪旦は千曲川と犀川を混同しているようです。

「筑波川」に続いて、「五流、中大流、北ノ方三流、操舟、南一流、カチ渡り、同一流、小橋有」と書いてあります。「5つの流れがあり、中でも大きいのが北の3流で、操舟という渡し舟がある。南の1流は徒歩で渡り、同じく南の1流は小橋がある」というのです。

絵を見ると、その通りに5つの川の流れが描かれていることが分かります。北側(右上)の3流は

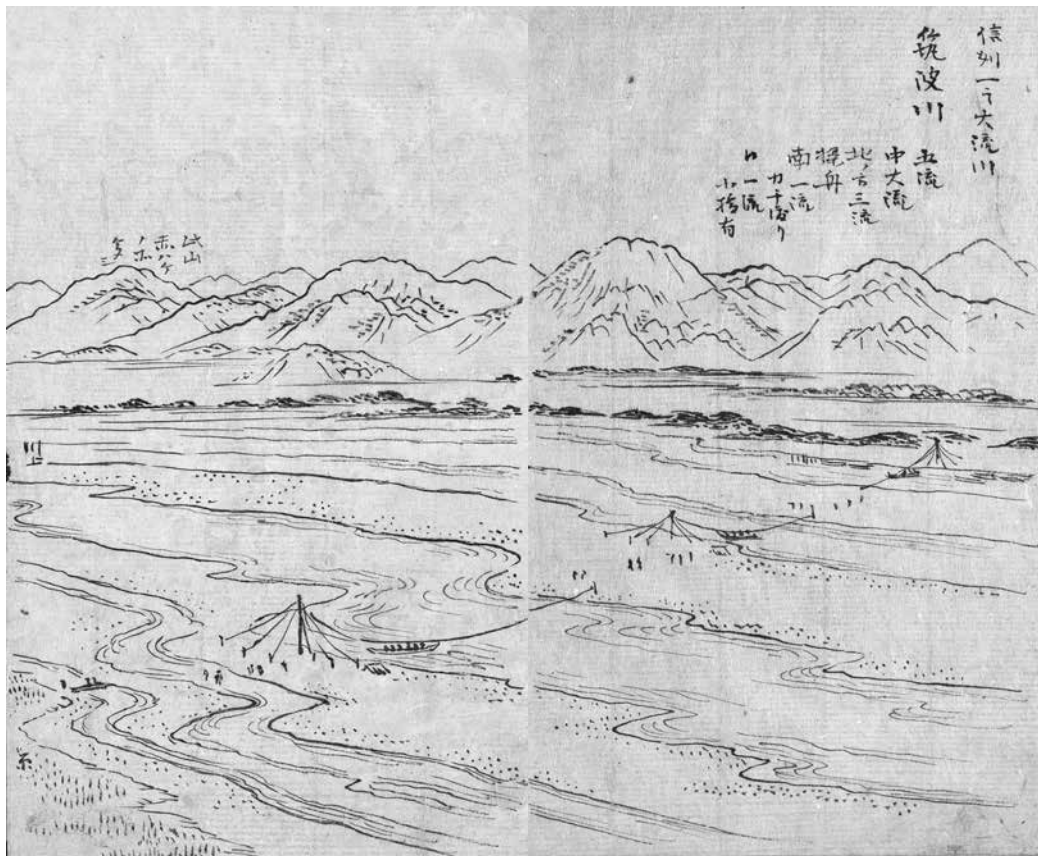
渡し舟で渡ります。それぞれ対岸との間に綱が張られていて、船頭はその綱をたぐって舟を対岸に渡します。南(左下)の2流の1つには小橋があり、もう1つの流れには川の中を歩く人が描かれています。

丹波島の渡しを描いた絵は『善光寺道名所図会』にある図が有名で、大きな1つの流れを操舟で渡るように描かれています。しかし実際にはこの絵のように2つか3つの流れ(瀬)をそれぞれ操舟で渡るのが普通でした。流れの数や流路は大雨のたびごとによって、一定していなかったのです。渡し賃も、1瀬の場合10文、2瀬の場合30文、3瀬の場合39文などと、瀬の数によって定められていました。

背後の山々

『善光寺道名所図会』の絵と比べると、背後の山々がかなり写実的に描かれています。中央右の大

丹波島の渡しの図(『北国一覽写』より)



きな山は長野市街地の西にそびえる旭山らしく、その右に葛山、大峰山が続いています。旭山の左奥の山は形からすると飯縄山のようなのですが、実際には旭山の右奥に見えるはずなので不審です。

山並を左にたどると、「^{この}此山赤ハケノ所多シ」と書いてあります。小市付近の山は白土を取るため、現在も白い肌が露出しています。「赤ハゲ」とはありますが、江戸時代も白い山肌が見えていたのです。



丹波島橋北詰東側の常夜灯

聖域の入口

善光寺の周辺は善光寺如来のおられる聖域だと、無意識に信じられてきました。犀川はその聖域と俗界との境界であり、丹波島の渡しは聖域の入口でした。そのため丹波島の渡しを舞台にした不思議な話がいくつも伝えられています。江戸時代末期に出版された『信州善光寺御堂額之写』という小冊子には、次のような話があります。

・九州長崎の中村吉蔵は妻と赤ん坊を連れて善光寺参りに来たが、途中で妻が病死した。赤ん坊を懷に入れて丹波島まで来て舟に乗ろうとすると、死んだはずの妻が姿を現し、赤ん坊を受け取って一緒に善光寺に参詣した。参拝が終わると、妻は姿を消した。

・越前新保村(福井県坂井市)の十郎右衛門は、甥と2人で江戸から帰る途中、善光寺のお朝事に参加しようと道を急いだ。丹波島の渡しに着いた時はすでに夜中で、渡し舟はなかった。2人が善光寺の方角を拝んでいると、舟に乗った不思議な老人が現れて、対岸に渡してくれた。

丹波島橋の移り変わり

・舟橋の時代

明治6年(1873)に舟橋が架けられました。これ

は舟を並べてその上に板を渡したもので、丹波島舟橋会社が運営しました。通行料は人7厘5毛、馬2銭でした。明治11年(1878)9月に明治天皇の巡幸があり、天皇は輿で舟橋を渡られました。

・木橋の時代

明治23年(1890)に地元民が丹波島架橋会社を設立し、長さ392メートル、幅5.4メートルの木橋を架けました。通行料は1銭5厘で、これまでの2倍になったので不満の声が上がり、明治30年(1897)に県に移管されて無料になりました。

・鉄橋の時代

昭和7年(1932)には鉄橋が架けられました。費用は88万円で、国道の橋ということで、国6割、県3割、市1割の負担でした。これには昭和恐慌の対策事業という意味がありました。幅は12メートル(車道は7.3メートル)でした。

・現在の橋

昭和61年(1986)に暫定2車線で開通し、平成5年(1993)に4車線化されました。平成27年の調査によれば、昼間12時間の交通量は3万7272台で、長野大橋に次いで県内2位でした。

2月号は「寂蒔村」の予定です。

税務署から
のお知らせ

確定申告書は自宅で作成できます!

Step 1 国税庁HP「確定申告書等作成コーナー」へアクセス

Step 2 申告書を作成 画面の案内に従って入力すると自動計算で申告書が作成できます。

Step 3 申告書を提出 申告書の提出は2通りあります。

▶ 作成コーナーからe-Taxで送信!

▶ 印刷して提出! 郵送などで税務署に提出します。

利用率
2人に1人が利用

利用者の感想
94%の方が役立つ

申告手続には、

マイナンバーの記載 と **本人確認書類の提示** または **写しの添付** が必要です。

◆ 作成コーナーの操作方法などに関するお問合せは

▶ e-Tax・作成コーナーヘルプデスク

0570-01-5901 (全国一律市内通話料金)

◆ 申告書の作成などにあたってのご不明点に関するお問合せは

▶ 長野税務署 **026-234-0111**

◆ 長野税務署の申告会場

申告会場／**長野市若里市民文化ホール**
(ビッグハット隣)

開設期間／平成30年**2月16日(金)～3月15日(木)**

受付時間／午前**9時～午後4時**

(会場の混雑状況により、早めに締め切ることがあります)

※ 申告会場は大変混雑するため、長時間お待ちいただく場合があります。

※ 2月18日(日)、2月25日(日)以外の土・日は開設していません。

※ 上記期間中は、長野税務署庁舎での申告相談は行っておりません。

www.keisan.nta.go.jp

作成コーナー



●みなさまの経営相談のご案内 [2月]

(注) 上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午 前	午 後	開催日		午 前	午 後
2月 2日	金	長 池 支 店 (大豆島支店)		2月 16日	金	須 坂 支 店 (墨坂支店・太子町支店)	豊 野 支 店
6日	火	若 槻 支 店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	21日	水	石 堂 支 店 (伊勢宮支店)	七 瀬 支 店 (南支店)
7日	水	稲 荷 山 支 店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	22日	木	篠ノ井支店 (川柳支店)	松 代 支 店 (更北支店)
8日	木	本 部	古 里 支 店 (吉田支店)	23日	金	大 門 町 支 店 (桜枝町支店)	飯 綱 支 店
13日	火	中 野 支 店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)	26日	月	本 店 営 業 部	
14日	水	権 堂 支 店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	27日	火	本 部	

● 2月の「しんきん事業相談会」は2月7日(水)です

長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでもご覧いただけます●

